



R301

鳥取県知事 平井 伸治 様

届出者 住所 鳥取県東伯郡琴浦町保37-1

氏名 大山乳業農業協同組合
代表理事組合長 小前 孝夫
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

鳥取県地球温暖化対策条例第8条第5項（第9条第3項）の規定により次のとおり提出します。

住所（主たる事業所の所在地）	鳥取県東伯郡琴浦町保37-1						
氏名（名称及び代表者の氏名）	大山乳業農業協同組合 代表理事組合長 小前 孝夫						
主たる業種	09 食料品製造業						
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第1号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第2号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第3号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者						
計画期間	平成31年4月 ~ 令和4年3月						
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度（実績） （平成30）年度 （二酸化炭素換算）	目標年度（計画） （令和3）年度 （二酸化炭素換算）	増減率	報告年度（実績） （令和3）年度 （二酸化炭素換算）	増減率	
	排出量（1）	13,701 t	13,290 t	△ 3.0 %	13,345 t	△ 2.6 %	
	実績に対する自己評価	エネルギー使用量の大半を占める本所工場で老朽化した冷凍機や空調器の更新を行っており、これらによりCO2排出量の削減が図れました。今後も計画的に設備の更新を行うと共に、改善活動等を通してより一層の削減を図っていきたく考えています。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率	報告年度（実績）	増減率
	工場製造部門（本所工場）	二酸化炭素換算製造量	0.20003 t-co2/t	0.19403 t-co2/t	△ 3.0 %	0.19343 t-co2/t	△ 3.3 %
	酪農指導部門（本所指導部門）	二酸化炭素換算床面積	0.03137 t-co2/m ²	0.03043 t-co2/m ²	△ 3.0 %	0.02745 t-co2/m ²	△ 12.5 %
	小売り店舗部門（まきば）	二酸化炭素換算床面積	0.16782 t-co2/m ²	0.16279 t-co2/m ²	△ 3.0 %	0.13668 t-co2/m ²	△ 18.6 %
実績に対する自己評価	新型コロナウイルスの影響により、昨年度は小売店舗の営業日が例年より少なくなりました。営業を休止したことが原単位削減の大きな要因となっています。本所については、例年通りの営業を行っており、大きな変動は見られませんでした。						
寄与的取組	取組区分	目標年度（計画）		報告年度（実績）			
		実数値	二酸化炭素換算の削減量	実数値	二酸化炭素換算の削減量		
	再生可能エネルギーの利用による電力又は熱の供給	(売電量)	kWh	t	(売電量)	kWh	t
		(熱供給量)	GJ	t	(熱供給量)	GJ	t
	再生可能エネルギーの利用による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	(購入量)	t	-	(購入量)	t	-
	森林保全による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	(購入量)	t	-	(購入量)	t	-
	電気、ガスその他のエネルギーの使用の合理化による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	(購入量)	t	(購入量)	GJ	t	
削減量等合計（2）	0 t		0 t				
差引排出量（1） - （2）	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）	報告年度（実績）	増減率（実績）		
	13,701.0 t	13,290.0 t	△ 3.0 %	13,345.0 t	△ 2.6 %		
推進体制	各月の各部門の管理職クラスが集まる組合向上委員会時に環境に関する報告を行っています。また、大山乳業の3ヶ年毎の中期計画に各部門毎に環境及び省エネに関する計画を策定して、実施状況等の点検、評価等を実施しています。また大山乳業が適用している食品安全システムのFSSC22000の事務局で環境に関する法律の変更動向を確認しています。						
年度ごとの具体的な取組及び措置の計画	年度	設備、対象、工程等	内容				
	令和元年度	チルド冷凍機	冷用水冷凍機や空調設備の更新時にエネルギー効率の高い機器を導入した。				
	令和2年度	空調機設備	空調設備の更新時にエネルギー効率の高い機器を導入した。				
	令和3年度	ボイラー設備	ボイラー設備の更新時にエネルギー効率の高い機器を導入した。				

地球温暖化対策に資する社会貢献活動

特記事項

注1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 本計画書における温室効果ガス排出量は地球温暖化対策の推進に関する法律第21条の2第3項に規定する「温室効果ガス算定排出量」の算定方法と同様の方法により算定した量をいいます。

3 本計画書は鳥取県内における事業活動について記載してください。

4 主たる業種には、統計法（平成19年法律第53号）第2条第9項に規定する統計基準として定める日本標準産業分類のうち中分類を記入してください。

5 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度をいいます。

6 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、○○工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標（生産数量、延べ床面積、走行距離等）を記入してください。

7 「特記事項」には、平成2年度（1990年度）を基準とした排出量の対比や省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達を採用などを記入してください。